

授業改善プラン 小学校 第5学年 国語

条件作文を書く活動を通して、自分の考えが伝わるように書く力を育成！

指導について

- ・調査問題概要／市正答率  
『複数の内容を関係付けた上で、自分の考えを具体的に書く』問題／B②三 市正答率 20.1%
- ・課題  
目的や意図に応じて、複数の内容を関係付けながら、自分の考えを具体的に書く力が十分に身に付いていない。
- ・指導の手立て  
例文を視写したり文の書き方の練習問題を行ったりすることで、文章表現の基礎的能力を育成したい。  
条件に応じて文を書く学習課題を取り上げ、資料から引用して文を書く活動を通して、「自分の考えたことを伝わるように書く力」を育成したい。

【教材名 書く「資料を読んで考えたことを書こう」】

【指導計画と評価】

次	時	指導計画	指導の手立てと留意点 / ☆評価 【使用する資料等】
1	1	○資料『ユニセフと子ども』(教科書 P102)から分かったことと考えたことを付箋紙に書く。	・リーフレット『ユニセフと世界の子ども』を読み、資料から分かったこととそれについて考えたことを書くために、色分けした付箋紙を用いる。【2色の付箋紙】
	2	○前時で書いた付箋紙をもとに、坂本さんが書いた文章の構成を調べ、全体で確認する。 「問いかけ」→「問題提起」→「資料の紹介」→「自分の考え」	・付箋紙をワークシートに貼ったりワークシートに記入したりして、一人学習できるようにする。 ・一人学習をもとに全体で話し合うことを通して坂本さんの文章構成を確かめる。【前時の付箋紙、ワークシート①】
2	1	○資料『じょうぶな骨を作るには』(教科書 P104)を読み、分かったことと考えたことを書く。 ○筆者(資料の作り手)が伝えようとしていることを話し合い、自分がみんなに伝えたい情報を決める。 ・「骨を増やそう」 ・「よく食べ、よく動き、よく眠る」 ・「規則正しい生活」など	・資料『じょうぶな骨を作るには』を読み、資料から分かったこととそれについて考えたことを書くために色分けした付箋紙を用いる。【2色の付箋紙】 ・話し合いを通して資料のもつ様々なメッセージを確認することで、自分が最も呼びかけたいメッセージを考えやすくしたい。 【ワークシート②】
	2	○自分の考えを書くための構成メモ(付箋を並び替えワークシートに貼ったもの)を作る。 ○メモをもとに条件を意識して文章を書く。(条件) ① 段落構成は「問いかけ」→「問題提起」→「資料の紹介」→「自分の考え」とする。 ② それぞれの段落で「資料から分かったこと」と「自分の考え」を関連させて書く。 ③ 字数は200字以上600字以内とする。	・4段落構成で構成メモを作成することを確認する。 ・手作りワークシート②に前時で書いた付箋紙を使ったり、引用文や考えたことを書き足したりしながら構成メモを作成できるようにしたい。 【前時の付箋紙】 ・条件として、文の構成、内容、文章量を示すことで児童が見通しをもって書けるように留意する。 【ワークシート③200字マス原稿用紙】 ☆自分の考えを伝えるために、資料から引用して、説得力のある文章を書くことができたか。 (書くこと/作文)